

項目		説明
試料・情報の	研究課題名	80 歳以上の膵癌患者に対する手術と重粒子線治療の治療成績
利用目的	研究対象者	2019 年 1 月～2026 年 1 月に当施設で手術又は CIRT を施行した 80 歳以上の膵癌患者さん
及び	研究目的	80 歳以上の高齢膵癌患者では、併存疾患や臓器機能、身体的予備能などを考慮する必要があり、根治性のみならず治療侵襲や治療後の生活への影響を踏まえた治療選択が重要である。手術は切除可能膵癌に対する標準的な根治治療である一方、高齢者では周術期合併症や術後の身体機能低下が問題となり得る。重粒子線治療（carbon-ion radiotherapy：CIRT）は、優れた線量集中性と高い生物学的効果を有し、身体的負担の少ない局所治療として、高齢者や手術リスクの高い患者に対する治療選択肢の一つとなっている。しかし、80 歳以上の膵癌患者を対象として、CIRT と手術の治療成績および患者背景を直接比較した報告は限られている。そこで本研究では、80 歳以上の膵癌患者に対する CIRT と手術について、患者背景、治療成績および安全性を比較し、高齢膵癌患者における治療選択の実態と両治療の位置づけを検討することを目的とする。
利用方法	研究方法	2019 年 1 月から 2026 年 1 月までに当施設で手術又は CIRT を施行した 80 歳以上の膵癌患者さん約 100 例を対象とする単施設後ろ向き観察研究である。電子カルテおよび診療記録から、年齢、性別、performance status（PS）、腫瘍径、病期、血液検査所見、治療内容などの患者背景ならびに治療後の経過を後方視的に収集する。対象を重粒子線治療（carbon-ion radiotherapy：CIRT）施行群と手術施行群に分類し、両群の患者背景、治療成績、治療関連有害事象などを比較検討する。生存期間については治療開始日を起点として評価し、両治療の有効性および安全性を検討する。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西 暦 2026 年 10 月 13 日 ～ 西 暦 2029 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[✓]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載:_____）、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載:_____)
	[✓] 情報:	[✓] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✓] 年齢、[] 生年月日、[✓] 性別、[] 既往歴、[] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[✓] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	消化器内科 戸塚 雄一郎
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 消化器内科 戸塚 雄一郎 045-520-2222（代表） 利用停止のお申し出は 2027 年 9 月 30 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	